

2024 September

320号



# あもりぞい

●社会医療法人創和会広報誌はあもりにい / 発行 理事長 重井文博  
令和6年9月1日発行



## 「故 宮崎雅史先生との思い出を 感謝を込めて」を執り行いました

去る令和5年8月3日に享年71歳でご逝去された宮崎雅史先生を偲ぶ集いを、7月21日（日）にANA クラウンプラザホテルにて開催しました。会場内には生前の写真や奥様からお預かりした思い出の品を展示したメモリアルコーナー、先生が院内行事として注力されていたお茶会を思い出す呈茶席を設け、在りし日のお姿を和やかに偲びました。先生と過ごした時間を振り返りながら思い出を大切に作る特別な機会となり、先生の優しい笑顔が思い出されました。ご参会の皆様、準備・運営にご協力いただいた皆様に深くお礼申し上げます。

幸町記念病院 一同

故 宮崎雅史先生と深く交流されていた60名以上の方々、そして当院で活躍して下さっていたOBと現任スタッフを併せておよそ100名以上の皆様にご参集いただきました。形式にこだわらない開催とさせていただきますが、奥様を囲んで語り合っていたくことで、和やかな雰囲気でお過ごしただけのものと思えます。参集された皆様から「和やかな良い会でした」とのご感想をいただいたことは、直前まで準備に取り組んだ当院スタッフそしてご支援くださいました創和会の方々のご尽力による賜物と思ひ、院長として感謝の気持ちを表したいと思えます。さらに、重井理事長におかれましては、終始ご来席者の方々にご挨拶いただけましたことで、集いの品位も保てたと感謝しております。

もしかしたら、故 宮崎先生も当院を見守ってくださる関係者の皆様が多くおいでになることに安堵され、スタッフが前院長の意志を受け継いで病院を大切に思っていることに微笑みを浮かべておられるのではないかと想っております。

この度は、慎ましく集いを催すことを主眼に執り行ったことに伴い、ご案内できなかった皆様がおいでと存じます。本紙面を持ちまして集いのご報告をさせていただきますとともにお詫び申し上げます。

院長 田中 信一郎

創和会様、田中院長先生と職員皆様のご尽力で立派な偲ぶ会を催していただき、誠に有難うございました。皆様の温かいお心遣いに、感謝の思いで胸がいっぱいになりました。心より御礼申し上げます。笑顔をお忘れそうになった時は、主人が大切に「笑顔・あいさつ・思いやり」の言葉を思い出しながら、今後も皆様のご健康・ご多幸と病院の益々のご発展を主人と共に祈り申し上げます。

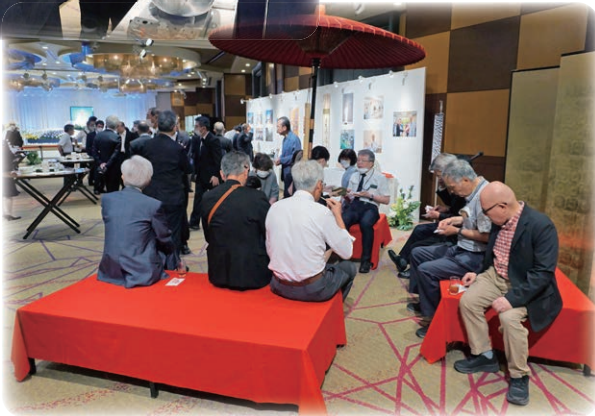
宮崎雅史の妻 宮崎 玉美



▲重井理事長による献花



◀◀宮崎先生の指導を受けた職員による呈茶席



▲奥様からお預りした品々 在りし日の写真とともに



▲奥様（右）とともに語らいの場

宮崎先生から看護師長に任命され、看護部も新体制となりはや1年になります。もし叶うなら、新体制の看護部を見ていただきたいと思っていました。この感謝の会では宮崎先生が側におられた様に感じて、この1年間のこととお別れ、そして感謝を伝え「岡田、頑張れ」と背中を押してもらえたようでした。ご参加くださいました皆様に感謝申し上げます。

(看護部 看護師長 岡田 順子)

宮崎先生がご逝去された頃はコロナ禍であり、個人的には、生前お世話になった先生にお別れできず心残りでしたが、この会が「一つの区切り」となったように思います。以前、私が当直の時に「今日は何が起ころうと安心だな」と宮崎先生に度々声をかけていただきました。少しは信頼されているのかなと感じたことを思い出します。今後もこのような言葉掛けをいただけるよう、日々の業務を頑張りたいと思います。

(技術部 技士長 岩谷 欣吾)

故 宮崎先生を偲ぶ会では、運営スタッフとして呈茶をしました。コロナ禍で院内行事が中止となり、お茶を点てる機会がなくなり久しぶりにこの会でお茶を点てました。入職した頃、点て方を教わったり職員旅行ではカメラを持ち風景やスタッフを撮影したりとスタッフと気さくに話をされていた楽しかった思い出が蘇りました。

また、主任のお話をいただいたときも「中空ならできる、困ったときは何でも相談しろ」と背中を押し励ましてくださったことが思い出され感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、宮崎先生のお言葉を糧に頑張っていきたいと思います。(看護部 看護助手主任 中空 幸子)

# 倉敷青陵高校の生徒が 体験学習に来ました！

～地域に愛される研究所を目指して～

重井医学研究所 分子遺伝部門 部長 松山 誠



重井医学研究所は、小学生～高校生の体験学習の受け入れを20年以上前から行っています。今年も7月22日（月）に岡山県立倉敷青陵高校の生徒さん20名が職場体験に訪れました。

はじめに「研究者になるための道のり」と題して、研究者の普段の仕事内容や研究者になるために必要なことなどを解説しました。また、これまで研究所が行ってきた腎臓病の研究やモノクローナル抗体・新規ゲノム編集技術 GONAD 法開発の紹介をしました。

## 体験して自ら考える体験を

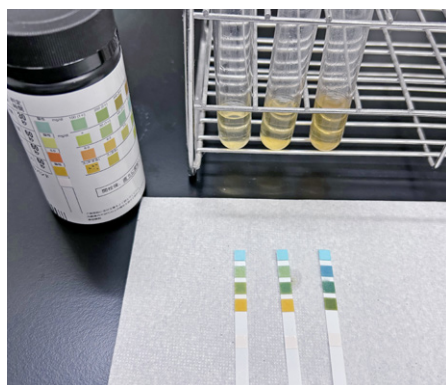
次に、研究所の見学と模擬実験を行いました。多くの生徒さんに参加していただいたので、3班に分けて「がん細胞や酵母の観察と研究機器の学習」「実験動物の観察と尿検査」「たまねぎからDNAを取り出す実験」をそれぞれ体験してもらいました。ただ実験を行うだけでなく、「なぜここで遠心機を使うのか？」「なぜ洗剤を入れるのか？」「なぜ食塩は必要なのか？」などを、生徒自身の知識を基に考えさせるようにしました。たまねぎの実験において、高校の生物の授業では、核酸やDNAという言葉勉強することはあっても、実験をすることはほとんどないそうです。DNAの取り扱いができることは、現在の基礎医学研究

には必須であるということも伝えました。

最後に、研究所の職員全員が集まって生徒さんからの質問を受けました。研究に興味を持っているようで、熱心にたくさんの質問をしてくれました。また事前に重井医学研究所の研究内容などをしっかり勉強してくれた生徒や、「将来研究者になりたい！」と言ってくれた生徒がいたことは、とても励みになりました。

今後も研究所は小・中・高・大学生を中心に見学や体験学習の受け入れを積極的に行っていく予定です。また、このような社会活動を通して地域に貢献していきたいと考えています。

今回の実験に興味がある職員の方は、お気軽に研究所・松山に声をかけてください。丁寧に指導いたします！



# うらじゃ 2024 「伝／つたえる」

温羅★重井連 運営スタッフ一同

8月17日・18日、岡山市中心部にて第29回うらじゃ2024 ころ晴れ晴れおかやま魂「伝」が開催されました。今年も新入職員を中心に踊り子34名、マネージャースタッフ6名、計40名で参加しました。

6月から練習を開始し、集まったスタッフで和気あいあいと一生懸命練習に励みました。当日は初めてイオンハレマチ演舞場で踊りました。店内は涼しかったですが、心は熱く踊りました。他の演舞場でも皆、笑顔で楽しく踊り切ることができました。翌日出勤すると同僚や患者さんから「昨日TVで見たよ。頑張ってたね。」とたくさん声を掛けてもらいました。

ここで今年初参加メンバーの感想を聞きましたので、ご紹介いたします。

『今年初めてうらじゃに参加しました。仕事終わりの練習は、様々な職種の方と交流できる楽しい時間でした。当日は暑さも忘れるくらい全力で楽しみながら一日を過ごすことができました。特に最後の総踊りは一般の方や他の踊り連の人と踊り、やり切った達成感を感じました。』

最後になりましたが、応援して下さいました方、勤務配慮してくれた各所属長、準備にご協力いただいた各部署の皆様にご心より感謝いたします。今後とも「温羅★重井連」をどうぞよろしくお願い致します。



# 「夏の！虫をつかまえてみるかい！」 を開催しました

重井薬用植物園 園長 片岡 博行

8月12日(月・休)に、倉敷昆虫館との共催行事、「夏の！虫をつかまえてみるかい！」を開催しました。メインの講師は、トンボに詳しい倉敷昆虫同好会の守安敦(つとむ)先生です。行事名には、昆虫を「捕まえて、見る(観察する)会」という意味と同時に「虫を捕まえてみるかい?」という呼びかけのふたつの意味を持たせており、夏休みの子供たちとその保護者を対象として、もう虫捕りが好きな子供たちには、昆虫を捕まえるだけではなく、昆虫の体のつくりや模様などをよく見て、観察眼を養う機会となるように、そして初めて虫捕りをする子供たちには、植物園内で、様々な昆虫に出会って、自然に興味を持つきっかけになれば、と考えています。この企画は2018年8月に初めて開催して以来、毎年開催していますが、熱中症対策もあって朝8～10時という、早い時間の開催にも関わらず、毎年、募集を開始後、数日～1週間程度で定員に達し、年間の行事の中でも特に人気のある企画となっています。今年の参加者は42名、そのうち子供はちょうど半数の21名(うち小学生未満の幼児が8名)でした。

当日の天候は快晴、それだけに8時の開会時には気温が30℃を超えていましたが、開会時に水分・塩分の補給を呼びかけたり、日陰の少ない温室エリアから木陰の多い湿地エリアへの移動時間を少し早めにしたりと、進行を工夫した結果、体調を崩す参加者も出ることなく、無事に終わることができました。

肝心の昆虫ですが、連日の猛暑の影響もあって

か、全体的に活動している

昆虫は少なめだったようです。ですが、子供たちは園内をとことろせま<sup>ほね</sup>しと走り回って虫を探し、温室エリアでは翅が日光に当たるとキラキラと輝いて見えるチョウトンボ、ショウリョウバッタやキリギリスの仲間、湿地エリアではヒメアカネの若い個体、カマキリの幼虫やユミアシゴミムシダマシ、コクワガタなどの甲虫を見つけました。また、樹液が出ているアラカシの幹にオオスズメバチが群れており、刺激しないように注意を呼び掛けるとともに、安全な距離から観察も行いました。

なお、この日はKSB瀬戸内海放送、RSK山陽放送、KCT倉敷ケーブルテレビの3社の取材もあり、虫捕りをしているときは元気いっぱいだった子供たちも、インタビューされるときはさすがに緊張していたようです。それも含めて、良い夏休みの思い出になったのではないかと思います。



▲参加者の子供が捕まえたチョウトンボ。翅の光沢が美しいトンボです。



▲開会時の様子。講師の守安先生から捕虫網の使い方の説明がありました。



▲気温が高めだったので、少し早めに木陰の多い湿地エリアに移動しました。



▲インタビュー中の参加者。3社ものテレビの取材がありました。

## 院内売店がリニューアルオープン！ 患者さんとスタッフの 新たな憩いの場

しげい病院 医療支援部 課長補佐 本多 雅亮



8月8日(木)、当院の1階に新たな売店「HOW しげい病院店」がオープンしました。オープニングフェアとして8月8日(木)～10日(土)の3日間はセールが開催され、初日は166人もの来客で賑わいました。

新しい売店では、地元企業のおにぎりやお弁当などの商品を積極的に取り扱っています。食品添加物や保存料をできるだけ使わない、契約農家の



▲食料品を中心に、日用品も取り揃えています

お米や野菜を使用する等こだわっています。お勧めの商品として「冷凍お好み焼き」があります。トレー付きなので、その場でレンチンするだけで手軽に本格的な味を楽しむことができます。残業で小腹が空いたときやお持ち帰りにも便利です。すでに職場の冷凍庫にストックしているスタッフもいるようです！

営業時間は、平日は午前8時30分から午後4時30分まで、土曜日は午前9時から午後1時までとなっています。また、クレジットカード・電子マネー・QRコード決済といった各種キャッシュレス決済も可能です。

今後も、より快適で便利な売店となるよう、売店スタッフと一緒に取り組んでいきたいと考えています。セールや企画商品などがリリースされる際には積極的に広報しますので、ぜひ新しい売店をご利用ください。よろしくお願いいたします。

## 今年で緑のカーテン10年目!!

しげい病院 医療支援部 係長 吉田 和明

毎年、省エネとecoの一環として“緑のカーテン”を設置しています。自分が総務課へ配属になり、緑のカーテンとの関わりが始まり10年目となりました。緑のカーテンの設置準備が始まると「夏がくる」と思います。

今年も例年と同じく11か所設置しています。たくさんのプランターを各々設置、その数は約120個。約300の苗を植えています。植えたあとも、ネットに蔓を巻き付けたり、摘心をおこなったりと管理が必要です。しげい病院では、工務係の2名が適切に管理してくれているので、立派な緑のカーテンに育っています。職員の皆さんにもぜひ当院の緑のカーテンを見ていただきたいと思います。リハビリテラス・南館屋上・本館のコインランドリー横など見やすい箇所もありますの

で、足を運んでいただければと思います。

今年の夏は記録的猛暑と言われています(毎年言われている気がします……)が、入院患者さんが緑のカーテンを見て涼しさを感じ、少しでも気を紛らわせていただければ幸いです。





## 2024 年秋冬期新規講座のご紹介

はあもにい倉敷 支配人 立川 真也

2024 年秋冬期の新規講座のご紹介をします。来期は語学講座が充実しています。

まず、英会話教室では、簡単な会話からスタートして、日本文化、国内行事案内、海外旅行の時に役立つフレーズ、脳トレなど楽しいレッスン内容で英語を学べる「おもてなし&旅する英会話」を平日に開講いたします。また、とても明るくエネルギッシュなアメリカ人と日本人のご夫婦で担当される「ネイティブと学べるビジネス英会話」を土曜日に、「ネイティブと学ぶ旅英会話」を日曜日に開講します。

その他にも、初めて韓国語を学ぶ方におススメ。大人気の「ほのぼの韓国語（初級Ⅰ）」は土曜日に増設されます。また、ご要望の多かった「中国語会話」を日曜日に開講します。基本的な発音から、日常使いの言葉、会話の練習を行っていきます。平日も土日も語学が充実していますので、この機会に興味のある言語を学んでみませんか。

キッズ講座では、カワイ体育教室が「年少クラス」を火曜日に開講します。満3歳児～年少さん対象のクラスで、基礎を固めながら運動への意欲を引き出すことを重視し、お子さん一人ひとりが無理なく楽しく運動できる指導を行っています。

体操といえば、パリオリンピックでの日本代表選手の活躍が記憶に新しいですね。火曜日には「器械クラス」も開講。基礎的なコースをクリアしたお子さんに、より高度な技の習得・上達を目的とした指導を行っています。

その他にも、ダイエット・武術・芸術から司法の入門まで、豪華講師陣による魅力的な講座が目白押し！

気になる講座がある方、まずは一度、無料体験会に参加してみませんか？写真右上のQRコードから、スマホで簡単にお申込みいただけます。定員に限りがありますので、ご予約はお早めに！

**はあもにい倉敷 2024 秋の新規講座**

**体験会 申し込みQR**

**ほのぼの韓国語 (初級)** **안녕**  
 第2・4土曜日 10:00~11:30 / 13:00~14:30  
 無料体験 9/14 (土)  
 大坪裕侍 先生

**おもてなし & 旅する英会話** **HALLO!**  
 第2・4水曜日 13:30~15:00 / 第2・4木曜日 13:30~15:00  
 無料体験 9/11(水) / 9/12(木)  
 名取玲子 先生

**你好! 中国語会話**  
 第2・4日曜日 13:00~14:00  
 無料体験 9/8 (日)  
 呂傑舟 先生

**Enjoy! ネイティブと学ぶ ビジネス英会話 旅行英会話**  
 ビジネス英会話 2・4土曜日 16:00~17:00 / 旅行英会話 2・4日曜日 16:00~17:00  
 無料体験 9/14 (土) / 9/8 (日)  
 グレグ&ノリコ・スミス先生

**カワイ体育教室**  
 【年少クラス】火曜日16:00~16:50 / 【器械クラス】火曜日17:00~17:50  
 無料体験 9/24 (火)  
 カワイ体育教室講師

**大人の社会見学 司法の窓口**  
 1・3水曜日 10:00~12:00 全3回講座  
 丸山昌子先生

**アートクレイ シルバー**  
 1・3水曜日 10:00~12:00  
 無料体験 9/18 (水)  
 丸山昌子先生

**癒しの竖琴 (ライア) 入門**  
 1・3火曜日 15:30~17:00  
 無料体験 9/17 (火)  
 福原雅子先生

**楽しいやさしい ダイエットヨガ**  
 2・4日曜日 16:00~17:00  
 無料体験 9/8 (日)  
 近藤めぐみ 先生

**美痩せ バランスボール**  
 2・4月曜日 10:30~11:30  
 無料体験 9/9 (月)  
 虫明暢子 先生

**中国武術 カンフー**  
 毎週金曜日 18:30~19:30  
 無料体験 9/20 (金)  
 呂傑舟 先生

## 催し物案内

重井薬用植物園

### 植物園を楽しむ会

「草津月の花野を楽しむ」

日時：9月7日（土）

10：00～12：00

会場：重井薬用植物園

## 編集後記

●漬物と聞いて何を思い浮かべますか。私は子供の頃きゅうりの漬物が好きでしたが、最近はカブの漬物を作るようになりました。主に東京の市場で売っている日本のカブを買って漬けておくことが多いですが、気分次第で外国のカブを塩漬けにすることもあります。長いものは何年も漬けたままです。ふと思いついて処分することもあります。基本的に放置です。今年の夏はカブが過去最高の値下がりであったので漬物にした人も多かったのではないかと思います。サマーバーゲンですね。カブの扱いは人によって違いますが、個人的には市場の値動きに一喜一憂せずに未来を透視するつもりで長期的な視点で無理なくやっていきたいものです。（MK）

●連日猛暑が続いていますが、全国で地震があったり台風が来たりと落ち着かない毎日ですね。地震が起きるといつも起こるのはスーパーなどでの水の売り切れ。先日買い物に行った際にも2Lのケースはすべて売り切れており、みんな急いで買うのだなと実感しました。うちでも、何か起こったときに必要な防災グッズや避難の際の移動経路を改めて確認しました。そんな中でこの暑さのせいか、車に不調が起こり買い換えようか検討しているところ。安い買い物ではないのでしっかり考えようと思ひ、暇さえあればネットで車を調べる日々。車には詳しくないし興味もなかったのですが、いろんなメーカーの車を比較していくうちに楽しくなり、災害のニュースで考えることが多く気分が沈んでいる中で、いい気晴らしになっています。（KM）

## 「仕事の『意味』について」

ジャパン EAP システムズ EAP 相談室

人が仕事に取り組むにあたって、自分の行った仕事に対し意味を感じることが大切なファクターとされています。一つの実験を紹介したいと思います。

この実験では、レゴでロボットを一つ組み立てるたびに報酬がもらえます。しかし、一つ組み立てるごとに、その報酬はだんだん減っていくのです。さらに、完成したロボットは解体すると伝えており、完成したロボットを机の下にある箱に入れていく条件と、ロボットを本人の目の前でただちに解体するという二つの条件があります。

作業の最初のうちは報酬をもらえ、組み立てる楽しみもあってロボットを組み立てていきますが、同じロボットを作り続けることへの飽きや対価の減少で、どこかの時点で「もうやめた」と作業をストップします。二つの条件を比較すると作成したロボット数に違いはあるのでしょうか。

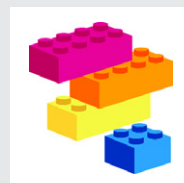
壊されるのはわかっているのだから、あとで壊されようが、目の前で壊されようが報酬はもらえるわけですし、作る数も変わらないと考える方もいらっしゃるかもしれませんね。結果はロボットを箱に入れる条件が10.6個、すぐに壊される条件が7.2個でした。

目の前で自分が作ったばかりの物が壊されることがモチベーションを下げてしまったと考えられます。作業自体は大した意味があるものではありませんが、ほんのちょっとした条件の違いがモチベーションと成果に大きな影響を与えたわけですね。

なお、被験者に結果を予想してもらったところ、第1条件（箱に入れる）の方が多くと予測されたのですが、その差は実際の結果よりも低く見積もられていました。私たちは働くときの意味の影響を、実際よりも低く見積もっている可能性があるようなのです。

ちなみに、レゴ好きの人のモチベーションがどうなったかも分析されています。第1条件では、レゴが好きなのはそうでない人よりも多くのロボットを製作しました。納得の結果ですね。では第2条件ではどうだったのでしょうか？なんと、レゴ好き効果はなくなり、レゴが好きでない人と同じくらいしか作成しなかったのです。好きという情熱や意欲さえも、意味のない仕事条件におかれると、その喜びが簡単に失われてしまうわけですね。

こうしたことから、従業員の生産性を高めたい場合は、達成感を持たせて、成果物に対してはそれを認めることが大切なのだということがわかります。皆様も、自分のやっている仕事の意味って何だろうと、考えてしまうこともあるかもしれませんが、そんな時はお気軽に相談室までご連絡ください。



### 【参考文献】

不合理だからうまくいく 行動経済学で「人を動かす」 ダン・アリ エリー ハヤカワ文庫

※社会医療法人創和会は職員の心の相談窓口として、ジャパン EAP システムズと契約しています。相談はお気軽に、電話やメールで。

## 社会医療法人 創和会グループ

WEB版はこちら。  
バックナンバーもご覧ください。➔



■ しげい病院

■ 重井医学研究所附属病院

■ 重井医学研究所

■ 医療法人 三祥会 幸町記念病院

■ 倉敷しげい訪問看護ステーション

■ 倉敷しげい居宅介護支援事業所

■ 岡山しげい訪問看護ステーション

■ 岡山しげい居宅介護支援事業所

■ 健康増進施設 はあもにい倉敷

■ 重井薬用植物園

■ 倉敷昆虫館